ご注意：本書は正式な取り扱い説明書ではありません。

本書は取り扱い説明書から注意文など製品の操作方法について直接関係のない部分や余白などを削除、修正したもので、操作方法が分からなくなったが説明書が手許にないとか、製品に興味があるが操作方法はどのようになっているのか先に知りたい、といった目的のために無償でご提供しています。正しくお使い頂くためには必ず製品に同梱されている説明書をお読み下さい。又、本書が完全な説明書では無いことに対するクレームは一切お受け致しませんので、予め御理解ください。

１：正式な説明書は無線機販売店でご購入いただけます。詳しくは下記の弊社ウエブサイトをご参照ください。http://www.alinco.co.jp/denshi/14.html

２：アマチュア無線機の場合、無線局免許状の書き方は申請書式や技適基準改正により変更になっているものがたくさんあります。http://www.alinco.co.jp/denshi/10.html　に技適番号やデジタルモード（音声・パケット）に関する情報を掲載しておりますので、合わせてご確認ください。

３：本書に記載の付属品・オプションアクセサリー・定格などは予告無く変更されているものがあります。最新の情報は弊社ホームページに掲載されています。

その他、動作や操作に関する良くあるお問い合せは：
http://www.alinco.co.jp/denshi/11.html　のＦＡＱページをご覧ください。

アルインコ（株）電子事業部

アルインコ株式会社 電子事業部

東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番21号八重洲セントラルビル4階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目2番6号新ダイビル9階 TEL.06-4797-2135
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号第3博多偕成ビル7階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120 0120-464-007

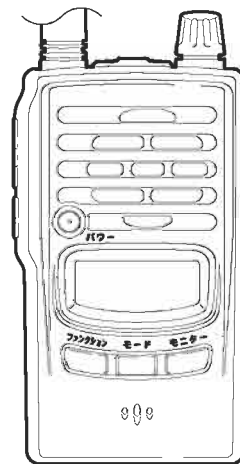
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00～17:00月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）
ホームページ　http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業」をご覧ください。

PS0568
FNNK-EN

ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

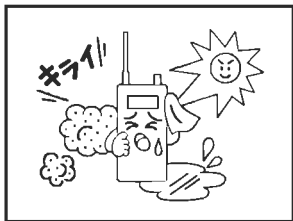
DJ-M1

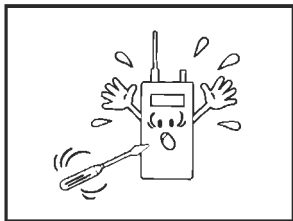
取扱説明書

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。

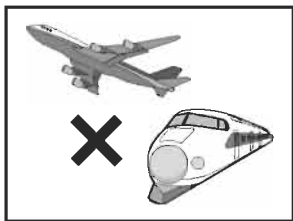
アルインコ株式会社

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所

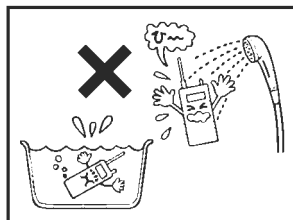
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など）

海外では、法律や周波数の割り当てが異なるため使用できません。

This product is permitted for use in Japan only.

■障害物

本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

■水につけないで

防水設計ではありますが、図のようなご使用は避けてください。なお、水、雪等が付いたときは手早くふき取ってください。外部接続端子（イヤホン、マイク、外部電源）を使用している間、また電池カバーやゴムキャップを開けたままにしておくと防水にはなりません。ご注意ください。

■通話エリア

通話エリアは見通しの良い場所では、親機を中心に約100mですが、障害物や周囲の状況によって大きく変動します。通話しにくいときは、壁などの障害物が少ない所に移動すると通話しやすくなる場合があります。

・親局（DJ-M1R）と併せて使用することで、最大4名で同時通話が可能
・音声通話の明瞭度を上げるコンパンダー機能を搭載
・ビジネスユースに耐える防水＆頑丈ボディ［JIS保護等級7（防浸形）相当］
・オプションのLi-ion充電池、Ni-MH充電池に対応
・本体に2タイプの充電回路を内蔵

1 お使いになる前に

本機をお使いになる前にお読みください。

1

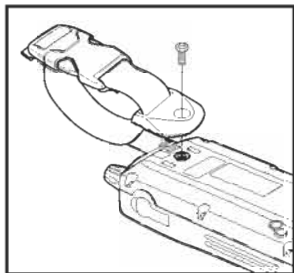
・・・・・・・・ 付属品と取り付け方 ・・・・・・・・

開梱しましたら、付属品を確認してください。

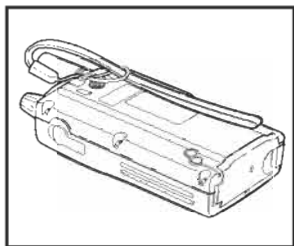
□ベルトクリップ（ビス1本）　□取扱説明書（本書）
□ハンドストラップ　□保証書

注意 保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

■ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを付属のビスで本機の背面に取り付けます。
確実に取りつけたことを確認してください。

メモ
・バンド部分は、長さ調節機能付きで、最大80mmの幅のベルトに対応します。
・クリップは差し込み式で、片手で簡単に脱着することができます。
・ベルトクリップは消耗品で、スペアを部品として販売しています。本体をお買い求めの販売店にご相談ください。

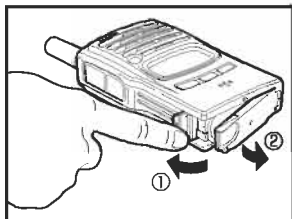
■ストラップの取り付け

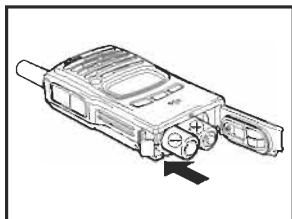
本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

メモ ベルトクリップとハンドストラップの両方を取り付ける場合には、先にハンドストラップを取り付けてからベルトクリップを取り付けてください。

・・・・・・・・・乾電池の入れ方・・・・・・・・・

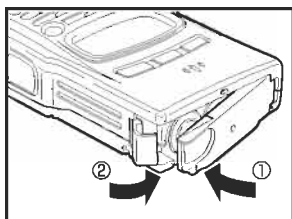
乾電池を次のように装着します。乾電池の代わりに、オプションの充電池、またはバッテリーパックを装着することもできます。

❶カバーを開ける

①ロックを外します。
②カバーを開けます。

❷電池を入れる

市販の単三形乾電池2本を、ケース内側の「＋」、「－」の表示にしたがってセットします。

- ＋／－の向きが違わないように注意してください。
- 電池は同じ種類の新しいものを使用してください。アルカリやオキシライドなど、高性能の乾電池の使用をおすすめします。
- 市販の単三形充電池は使用しないでください。
- 長期間使用しない場合は電池を取り外してください。
- 電池の交換は、外部電源を外し、本機の電源をOFFにしてからおこなってください。
- カバーを長期間閉めたままにすると、カバーと本体の間に細かいホコリが溜まって、カバーの開閉がしにくくなります。時々、乾いた布などでカバーのゴムパッキンに溜まったホコリを拭き取ってください。

❸カバーを閉める

①カバーを閉めます。
②カバーを押さえながら、ロックをかけます。
きちんと閉まっていることを確認してください。

●**オプション**

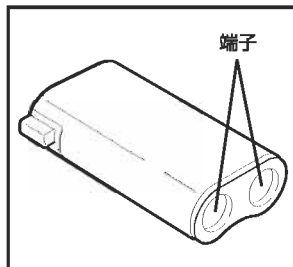
オプションの充電池、バッテリーパック、および関連するアクセサリーは次のとおりです。P.31の「オプション一覧」も参照してください。

ニッケル水素充電池	：E8P-57N（1.2V-1800mAh）
リチウムイオンバッテリーパック	：EBP-60（3.7V-1200mAh）
ACアダプター	：EDC-122
充電スタンド	：EDC-131
充電スタンド/ACアダプターセット	：EDC-131A

注意　オプションの充電池、バッテリーパック使用上の注意

・オプションの充電池、バッテリーパックは出荷時には充電されておりません。お買い上げ後に充電してからご使用ください。
・充電は0℃～40℃の温度範囲内でおこなってください。
・バッテリーパックの改造、分解や火中、水中への投入は危険ですからしないでください。
・バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器が破損したり、バッテリーの発熱による火傷の恐れがあります。
・必要以上の長時間の充電（過充電）は避けてください。バッテリーパックの性能を低下させる恐れがあります。
・バッテリーパックの保存は、－20℃～+45℃の範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの漏液や、金属部分のサビの原因になりますので避けてください。
・バッテリーパックは、通常の使用で約500回の充電が可能ですが、所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は寿命がつきたものと思われます。新しいものにお取替えください。
・ご使用済みのバッテリーパックは、環境保護のため、燃えないゴミといっしょに捨てずに、電池回収協力店へご持参ください。

■バッテリーパックのショート防止のご注意

バッテリーパックを持ち運ぶときには、端子がショートしないように注意してください。（P.13）
大電流が流れて火傷や火事を起こす危険があります。

■バッテリーパックの保管と携帯について

バッテリーパックを保管、携帯するときは、以下のことに注意してください。

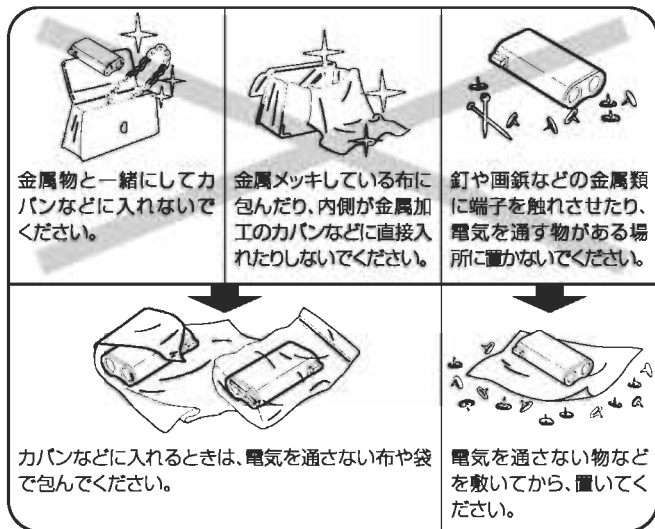
金属物と一緒にしてカバンなどに入れないでください。

金属メッキしている布に包んだり、内側が金属加工のカバンなどに直接入れたりしないでください。

釘や画鋲などの金属類に端子を触れさせたり、電気を通す物がある場所に置かないでください。

カバンなどに入れるときは、電気を通さない布や袋で包んでください。

電気を通さない物などを敷いてから、置いてください。

1

■オプションの充電池、およびバッテリーパックの充電方法

本機には、ニッケル水素充電池用とリチウムイオンバッテリーパック用の2つの充電回路が内蔵されています。

ニッケル水素充電池（EBP-57N）：

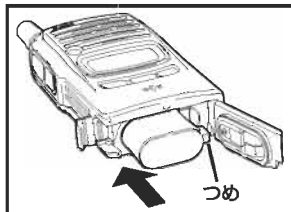
本機にはニッケル水素充電池用のトリクル充電回路が内蔵されていますが、微小電流による充電回路であるため満充電には長時間を要します。あくまでも補充電程度とお考えください。充電時間は約15時間です。

リチウムイオンバッテリーパック（EBP-60）：

本機には、リチウムイオンバッテリーパック用の急速充電回路が内蔵されています。本機の電源のON/OFFに関係なく充電が開始され、満充電になると自動的に終了します。充電時間は約3時間です。

注意 単三形乾電池装着時には絶対に充電しないでください。液漏れや発熱、破裂を起こし、事故や故障の原因となります。

❶本機にニッケル水素充電池または、リチウムイオンバッテリーパックを装着する

装着方法はP.11を参照してください。バッテリーパックは、つめの位置を確認して、端子が奥になるように挿入してください。

❷ACアダプターを家庭用電源AC100Vコンセントへ接続する

❸ACアダプターのプラグを本機の外部電源端子または、充電スタンドに接続する

●外部電源端子を使う

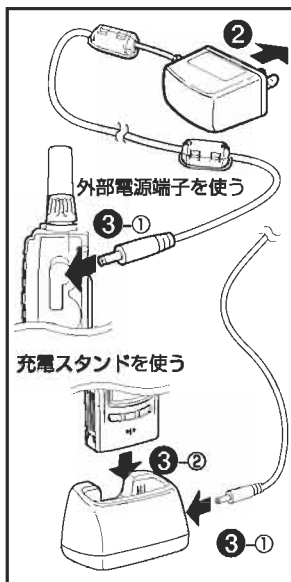
①本機の外部電源端子にACアダプターのプラグを接続します。

→リチウムイオンバッテリーパック装着時は、自動的に充電が開始されます。

●充電スタンドを使う

①充電スタンドにACアダプターのプラグを接続します。

②本機を充電スタンドに装着します。

→リチウムイオンバッテリーパック装着時は、自動的に充電が開始されます。

❹ニッケル水素充電池を充電する場合のみ、Ni-MH電池充電機能（P.29）の設定に従い、充電機能をONにする

メモ　電源OFFの状態で充電すると「CHArGE」と表示され、▭ が点滅します。

・・・・・・・ 各部の名前とはたらき ・・・・・・・

本機の各部の名前とそのはたらきを説明します。

■前面部

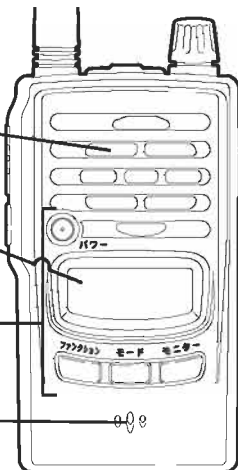
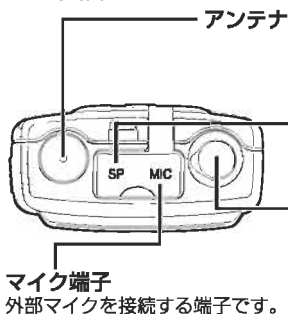
スピーカー
薄型スピーカーが内蔵されています。

ディスプレイ
チャンネルグループ、個別番号や音量、各種設定内容を表示します。（P.18）

キーパッド
電源のON/OFFや各種設定に使用します。

マイク
マイクと口元は約5センチ離してください。

1

■上面部

アンテナ

> **注意** アンテナは外れないようになっています。アンテナを回したり、引き抜いたりしないでください。

イヤホン端子
イヤホンや外部スピーカーを接続する端子です。

マイク端子
外部マイクを接続する端子です。

ダイヤル、［音量、チャンネルグループ、個別番号、セット］キー
ダイヤルを回して音量を調整します。
［フック］キーと［ファンクション］キーを押しながら回すとチャンネルグループ、［フック］キーと［モニター］キーを押しながら回すと個別番号が変更できます。
F 点灯状態で押すとセットモードの項目選択ができます。

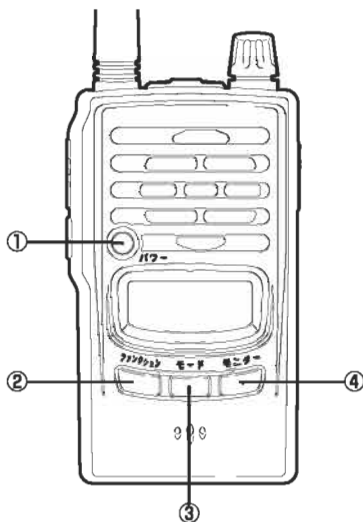
■側面部

[PTT] キー
短く押すと送信し、もう一度押すと受信待ち受け状態になります。
各種設定を完了する際にも使用します。

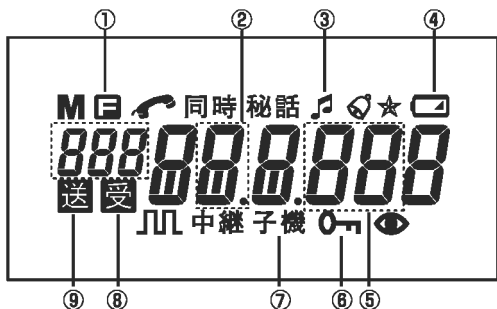
[フック] キー
チャンネルグループ、個別番号変更時に使用します。

DC-IN
外部電源接続端子です。
オプションのACアダプター（EDC-122）やシガーライターケーブル（EDH-33）を接続します。
オプションのリチウムイオンバッテリーパックやニッケル水素充電池を装着し充電できます。

注意 外部電源のプラグの抜き差しは、本機の電源をOFFにしてからおこなってください。

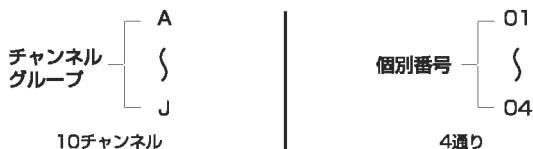
■キー配置

	キー名称	機　能
①	[パワー]キー	約1秒間押して電源をON/OFFします。
②	[ファンクション]キー	各種設定の開始に使用します。 [フック]キーと同時に押しながらダイヤルを回すと、チャンネルグループが変更できます。
③	[モード]キー	本機では使用しません。
④	[モニター]キー	相手の音声が途切れるときに使用します。 [フック]キーと同時に押しながらダイヤルを回すと、個別番号が変更できます。

1

■ディスプレイ

	説　明
①	[ファンクション]キーを押すと点灯します。
②	チャンネルグループ番号を表示します。(P.19) セットモード時には、設定項目や設定値を表示します。(P.27)
③	コンパンダー機能が常時設定されています。
④	電池が消耗すると点灯します。(P.25)
⑤	個別番号を表示します。
⑥	キーロック中に点灯します。(P.24)
⑦	子機であることを表示しています。
⑧	受信中に点灯します。
⑨	送信中に点灯します。

■チャンネル表示について

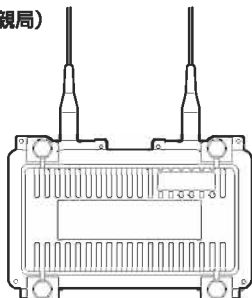
チャンネルグループ A 〜 J
10チャンネル

個別番号 01 〜 04
4通り

本機とDJ-M1R（親局）に設定されているチャンネルグループ表示の対比一覧表です。最大4台の子機（例：A-01～A-04）が同時通話できます。

子機（本機）	親局（DJ-M1R）	子機（本機）	親局（DJ-M1R）
A-01	A	F-01	F
A-02		F-02	
A-03		F-03	
A-04		F-04	
b-01	b	G-01	G
b-02		G-02	
b-03		G-03	
b-04		G-04	
C-01	C	H-01	H
C-02		H-02	
C-03		H-03	
C-04		H-04	
d-01	d	I-01	I
d-02		I-02	
d-03		I-03	
d-04		I-04	
E-01	E	J-01	J
E-02		J-02	
E-03		J-03	
E-04		J-04	

注意 子機の個別番号は、重複しないように選択してください。

1

〈参　考〉下記の図は最大4台で同時通話する場合の構成です。

基本操作

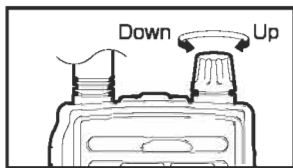
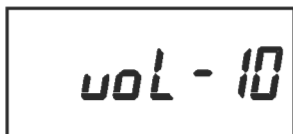
本機を使用する上で基本となる操作を説明します。

■電源を入れる

［パワー］キーを約1秒間押します。
電源を切るときも同じ操作をします。

■音量を調整する

❶ダイヤルを回して音量を調整する

→ディスプレイに音量「voL-10」が表示されます。初期状態では「10」に設定されています。
音量の表示中にダイヤルを回すと音量が増減できます。音量調整は0～15までの16段階です。

❷希望の音量を選択したら［PTT］キーを押して設定を完了する

各キーの無操作状態が約5秒続いても自動的に設定を完了します。

1

■グループチャンネルを設定する

親局（DJ-M1R）と同じチャンネルグループ（A～J）に合わせてください。

［フック］キーと［ファンクション］キーを同時に押しながらダイヤルを回します。

■個別番号を設定する

個別番号は1台ごとに異なった番号（01～04）を設定してください。

［フック］キーと［モニター］キーを同時に押しながらダイヤルを回します。

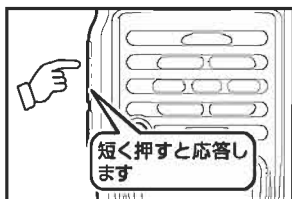
■送信する

［PTT］キーを短く押すと送信し、もう一度押すと受信待ち受け状態になります。

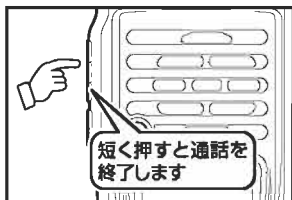
・マイクと口元は約5cm離してください。
・初期状態では「PTTホールド機能」（＊1）が設定されています。セットモード（P.30）で解除することができます。

＊1：「PTTホールド機能」とは［PTT］キーを一度押すと送信を保持する機能です。

■応答する

相手から呼び出されたときは［PTT］キーを短く押して応答すると、同時通話状態になります。
→ディスプレイの 送 受 が点灯します。

メモ マイクと口元は約5cm離してください。

■通話を終了する

通話を終了するには［PTT］キーを短く押します。

メモ オプションのイヤホンマイク（EME-15A/21A/29A/30A/31A）、ヘッドセット（EME-12A/13A）の［PTT］キーを押すごとに送信/受信を繰り返します。
ただし、オプションのヘッドセットEME-19Aをご使用になる場合は、操作方法は次のようになります。
①セットモードでPTTホールド機能をOFFにする（P.30）。
②EME-19Aの黒ボタンをONにする。
③EME-19Aの黒ボタンをOFFにし、呼び出しを待ちます。

1

便利な機能

本機を使用する際に便利な機能を紹介します。

2

・・・・・・キーロック（2タイプ）・・・・・・

キーロックしておくと、誤操作などによる設定変更を防止できます。

メモ
- ・キーロック中でも、電源ON/OFF、音量調整、送信、モニター操作は操作可能です。
- ・業務用途などで簡単にロックを解除したくないときは、通常キーロックをお勧めします。

■簡易キーロック

●キーロックする

［ファンクション］キーを約3秒押します。
→「LoC-1」が点滅した後、🔑が点灯します。

●キーロックを解除する

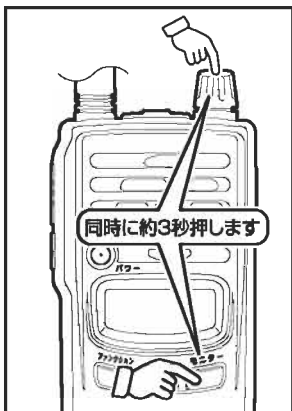
キーロック中に［ファンクション］キーを約3秒押します。
→🔑が消灯しキーロックが解除されます。

■通常キーロック

●キーロックする

［モニター］キーと［ダイヤル］を同時に約3秒押します。
→「LoC-2」が点滅した後、0‐π が点灯します。

●キーロックを解除する

キーロック中に［モニター］キーと［ダイヤル］を同時に約3秒押します。
→0‐π が消灯しキーロックが解除されます。

注意 キーロック解除は、キーロックをかけた操作と同じ操作をおこなわないと解除できません。

・・・・・・・・・ バッテリー警告機能 ・・・・・・・・・

電池の残量が少なくなると ▭ が点灯します。
電池の交換時期が近付いています。新しい電池と交換してください。

メモ
・電源OFFの状態で充電すると「CHArGE」と表示され、▭ が点滅します。
・オプションのニッケル水素充電池(EBP-57N)をご使用の場合、セットモードでNi-MH電池充電機能をONに設定してください。充電機能をONにすることにより、本機がニッケル水素電池を使用していると判断し、▭ を交換時期に正しく表示します。

注意 本機能には誤差があるため、目安程度とお考えください。

リセット

設定状態などがわからなくなったときに初期化できます。

［ファンクション］キーを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に［ファンクション］キーを離します。

2

注意 リセットをおこなうと、チャンネルグループや個別番号、その他の設定済み内容が初期化されます。

セットモード

各種機能をより使いやすくするために、本機をカスタマイズする機能です。

セットモード一覧

	カスタマイズ項目	参照ページ	初期値
1	ビープ音量設定	P.29	3
2	Ni-MH電池充電機能	P.29	OFF
3	ランプオン/オフ設定機能	P.30	5秒
4	PTTホールド機能	P.30	ON

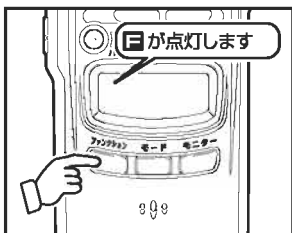
P.29〜P.30にセットモードの各項目の設定方法を記載しています。
なお、掲載しているディスプレイ表示は、工場出荷（初期）の状態のものです。

3

各項目の設定方法

セットモードで設定する各カスタマイズ項目の基本的な設定方法は次の通りです。各項目の詳細は、該当するページを参照してください。

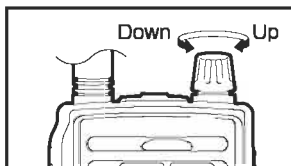
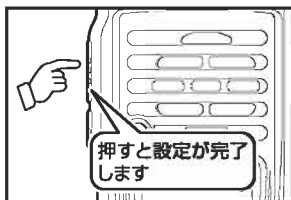
❶セットモードにする

［ファンクション］キーを押します。
→Fが点灯します。

❷ F点灯中にダイヤルを押す

→セットモードの項目が表示されます。ダイヤルを押すごとに項目が切り替わります。［フック］キーを押すと前項目に戻ります。

3

❸ダイヤルを回して設定値を変更する

または、ダイヤルを回してON/OFFを選択します。

❹［PTT］キーを押して設定を完了する。

ビープ音量設定

本機から鳴るビープ音（操作音）の音量を設定します。初期状態では「3」に設定されています。

❶ビープ音量の設定をする

セットモードにして（P.27）「bEEP 3」を選択します。

bEEP 3

❷ダイヤルを回しビープ音量を設定する

ビープ音量は0～5の間で選択できます。「0」に設定するとすべてのビープ音（キー操作音、エンドビーなど）が鳴らなくなります。

Ni-MH電池充電機能

オプションのニッケル水素充電池（EBP-57N）にトリクル充電する機能です。初期状態ではOFFに設定されています。

メモ
- オプションのニッケル水素充電池（EBP-57N）をご使用の場合、セットモードでNi-MH電池充電機能をONに設定してください。充電機能をONにすることにより、本機がニッケル水素充電池を使用していると判断し、バッテリー警告マークを交換時期に正しく表示します。
- 本機は微小電流による充電であるため、補充電程度とお考えください。充電時間の目安は次の通りです。
  EBP-57N（1800mAh）：約15時間

注意 単三形乾電池（アルカリ/オキシライドなど）装着時には絶対に充電しないでください。液漏れを起こし、事故や故障の原因となります。また、市販の単三形充電池は機構的、電気的に合わないものがあるため、使用しないでください。

❶Ni-MH電池充電の設定をする

セットモードにして（P.27）「oFF CHArGE」を選択します。

oFF CHArGE

❷ダイヤルを回しON/OFFを設定する

ランプオン/オフ設定機能

ディスプレイ照明を点灯させる機能です。初期状態では「5」秒に設定されており、キー操作をすると5秒間照明が点灯するように設定されています。

注意 ディスプレイ照明を常時点灯させると電池の消耗が早くなります。

❶ランプの設定をする

セットモードにして（P.27）「5LAmP」を選択します。

5 LAmP

❷ダイヤルを回し点灯時間を設定する

OFF、5秒、ON（常時点灯）から選択します。

PTTホールド機能

［PTT］キーを一度押すと送信を継続する機能です。もう一度押すと受信待ち受け状態になります。OFFに設定すると、［PTT］キーを押している間は送信し、離すと受信待ち受け状態になります。初期状態ではONに設定されています。

❶PTTホールドの設定をする

セットモードにして（P.27）「on PttHLd」を選択します。

❷ダイヤルを回しON/OFFを設定する

付　録

本機の補足事項を記載しています。

オプション一覧

EBP-57N	ニッケル水素充電池
EBP-60	リチウムイオンバッテリーパック
EDC-131A	充電スタンド/ACアダプターセット
EDC-131	充電スタンド単体
EDC-122	ACアダプター単体
EDC-155R	EBP-60用連結充電スタンド
EDC-156(*1)	EDC-155R連結充電用ACアダプター
EDH-33	シガーDC/DCコンバーター（12V／24V車対応）
EME-12A	VOX付きヘッドセット（ヘッドホンタイプ）
EME-13A	VOX付きヘッドセット（インナータイプ）
EME-15A	VOX付きタイピンマイク
EME-19A(*2)	ヘルメット用ヘッドセット
EME-21A	イヤホンマイク（業務仕様）
EME-23A	イヤホンマイク
EME-29A	イヤホンマイク　イヤーフック付（業務仕様）
EME-30A	イヤホンマイク（ブームマイク）
EME-31A	イヤホンマイク（タイピンマイク）
EME-6	イヤホン（ストレートコード）
EME-26	イヤホン（カールコード）
ESC-40	ソフトケース

注意 (*1)：最大6台まで一度に充電することができます。
(*2)：バイク用ヘルメットには使用できません。

・・・・・・故障とお考えになる前に・・・・・・

本機が故障かなと思ったら、まずこちらをお読みください。

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	電池の入れ方が間違っている。（P.11）	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電池を充電してください。
ディスプレイ表示が消える。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。 充電池を充電してください。
音が出ない。 **通話できない。**	音量が低すぎる。（P.21）	適切な音量に調整してください。
	チャンネルグループが違う。（P.22）	親局と同じチャンネルグループに合わせてください。
	距離が離れ過ぎている。（P.8）	場所を移動してから通話してください。
	個別番号が重複している。（P.22）	子機ごとに異なった番号を設定してください。
電池の消耗が早い。	ランプオン/オフ設定機能がONになっている。（P.30）	セットモードのランプオン/オフ設定機能でランプをOFFにするか、5秒に設定してください。
キー操作できない。 **チャンネルが変わらない。**	キーロックされている。（P.24）	キーロックを解除してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセット（初期化）（P.26）してください。症状が回復する場合があります。

電池が消耗していると、まれに誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

4

定格 DJ-M1

送信周波数	413.70000～414.13750MHz
受信周波数	454.05000～454.18750MHz
電波形式	F3E（FM）
送信出力	1mW
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
受信感度	-14dBμ以下（12dB SINAD）
中間周波数	1st IF 21.7MHz / 2nd IF 450kHz
消費電流	同時通話時 約80mA
	受信待ち受け時 約20mA
通信方式	複信方式
定格電圧	DC2.4V～DC3.7V
外部電源端子	DC5.0V～DC6.0V　EIAJ規格:区分2
動作温度範囲	-10℃～+50℃
寸　法	57（W）×98（H）×27.9（D）mm（突起部除く）
重　量	124g（電池除く）

〈参　考〉本機の周波数（チャンネル）は、一般の交互・同時通話用特定小電力トランシーバーとは異なるものを使用しています。このため、一般の特定小電力トランシーバーやDJ-RX2のような受信専用端末では、本機と通話したり、音声を受信することはできません。

4

作業連絡用通信システム [親局]

(総務省技術基準適合品)

DJ-M1R

取扱説明書

アルインコの作業連絡用通信システムをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、陸上移動業務無線局(作業連絡用)通信システムの親局です。
本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。

※本製品は、DJ-M1(子機:弊社製品)と併せてご使用いただくことで、通信できるシステムです。

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など）

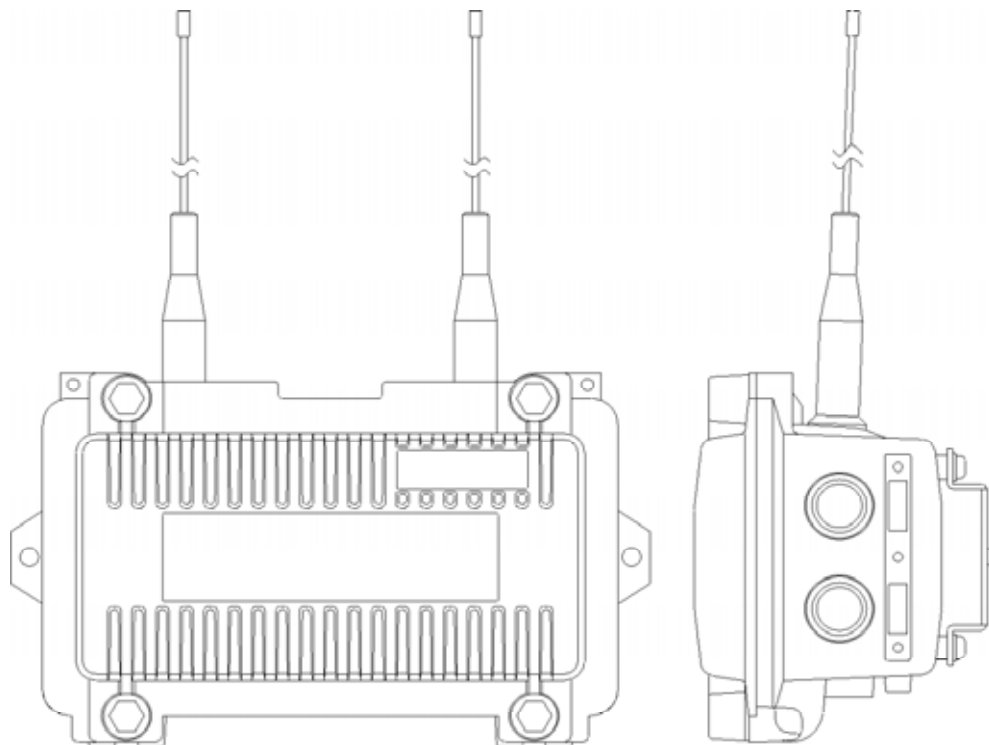
■設置場所は、周囲の温度が極端に高いところ、また極端に低いところ、海水が直接被るところ、落雷の危険があるところは避けてください。

■分解や改造して使用することは、法律でかたく禁じられています。

■海外では法律や周波数の割り当てが異なるため使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

■内部設定後は、ケースフタとケース本体を止める 4 箇所のボルトを適切な工具などで完全に締め付けてください。防水、防塵の機能が果たせなくなり、故障の原因となります。
水分や異物の混入は、保証修理の対象外となります。

◆◆◆ 目　次 ◆◆◆

1　外観

2　付属品

開梱しましたら、付属品を確認してください。

□ポールマウント、壁取り付け金具一式
□ACアダプター
□シガーライターケーブル (12V/24V 車対応)
□取扱説明書 (本書)
□保証書

注意　保証書に購入の日付が記載されていないときは、レシートを保証書と一緒に保管してください。ご購入日が証明できる書類が無いと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

3　機能と特長

■免許および申請手続きは一切不要です。

■DJ-M1(子機：弊社製品)と併せてご使用いただくことで、最大 4 名で同時通話ができます。

■音声通話の明瞭度を上げるコンパンダー機能搭載。

■防水、防塵仕様で耐候性、耐久性に優れ、屋外設置可能です。

■本機の電源は、家庭用 AC コンセント(AC アダプター：付属品)または車のシガーソケット(*1) (シガーライターケーブル：付属品) から供給することができます。

■停電などにより電源供給が停止した場合、単三形乾電池または Ni-MH 充電池 (*2) で一時的に運用(*3)することができます。

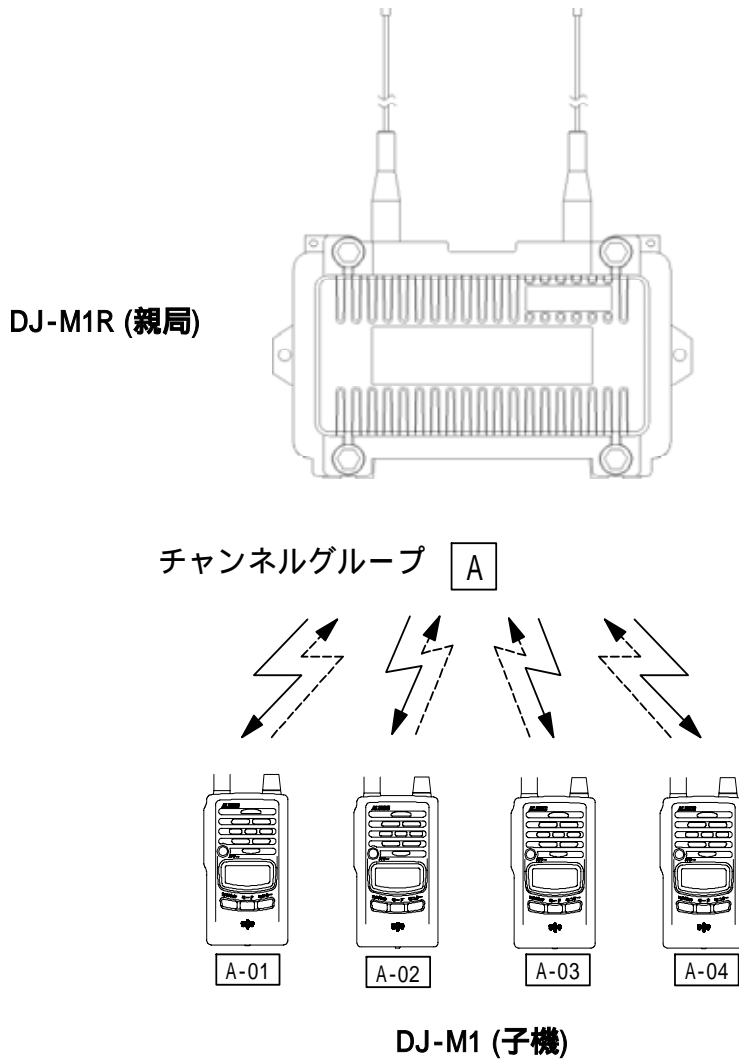
■本機を 2 台連結することにより、最大 8 名で同時通話することができます。
連結する場合には、ケーブルでの接続やチャンネルグループの設定が必要ですので、販売店または代理店にご相談ください。

(*1)　12V 車、24V 車どちらでもご使用になれます。

(*2)　市販の単三形充電池は使用しないでください。
EBP-57N (オプション) が 3 セット (6 本) 必要です。

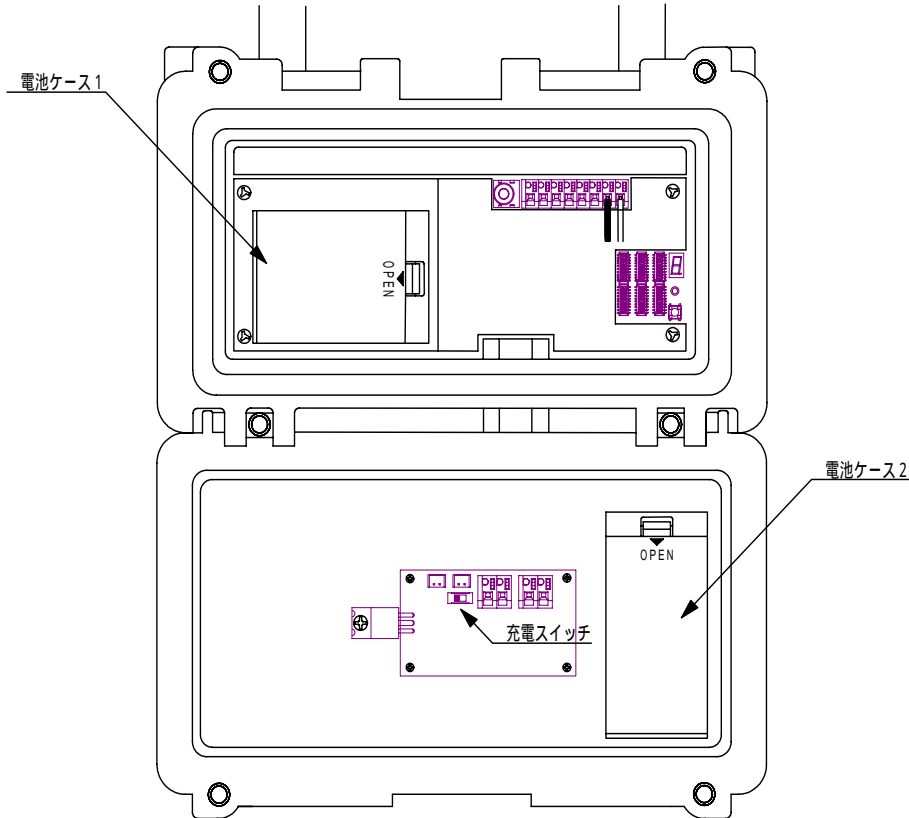
(*3)　約 2 時間運用することができます。

4 システム構成について

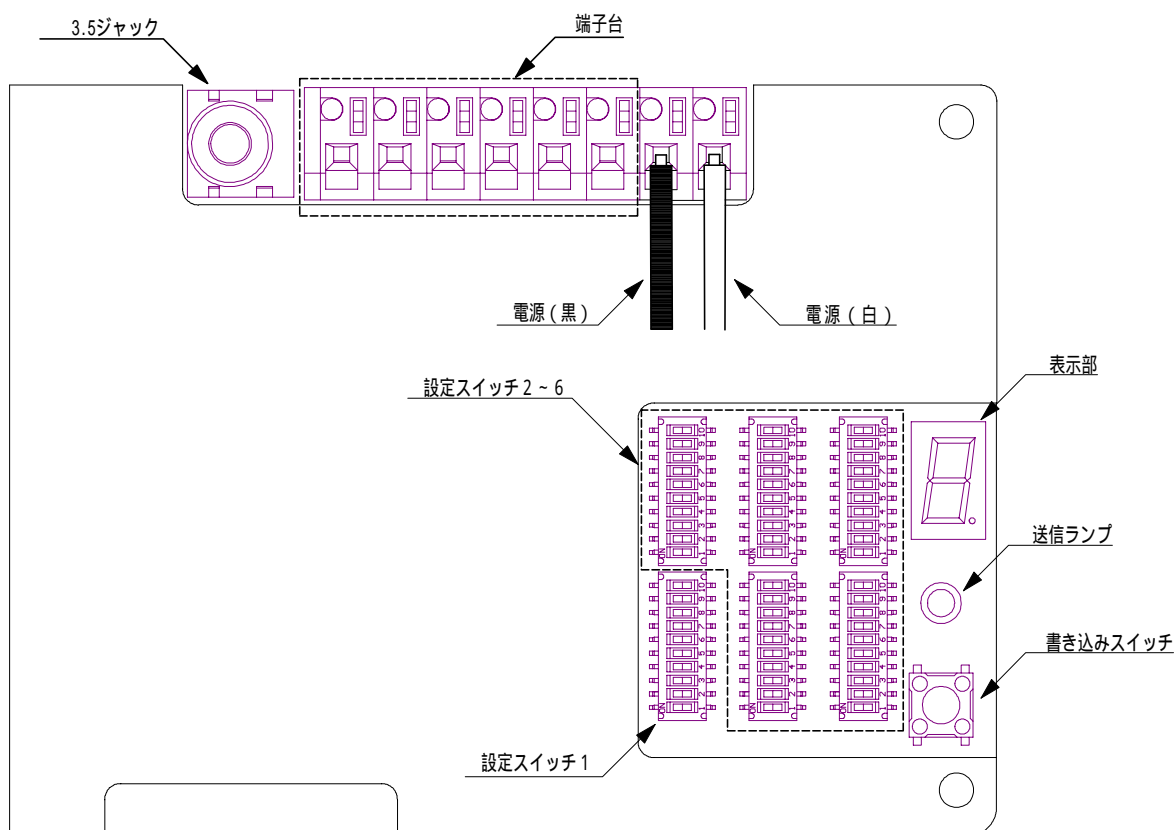
本機(DJ-M1R)を設置することにより、最大4名 (例:A-01～A04) で同時通話できます。

メモ ・親局と子機に設定されたチャンネルグループと個別番号が一致したとき通話できます。
・子機 (DJ-M1) は、それぞれ異なる個別番号 (01～04) に設定します。

5　各部の名称とはたらき

本機の各部の名称とはたらきを説明します。

■ケース内部

	名称	はたらき
①	電池ケース 1	ケース内側の「+」、「-」の表示にしたがって、単三形乾電池または EBP-57N を 4 本装着します。
②	電池ケース 2	ケース内側の「+」、「-」の表示にしたがって、単三形乾電池または EBP-57N を 2 本装着します。
③	充電スイッチ	「CHG」側にスライドさせると、充電を開始します。 AC アダプターやシガーライターケーブルで電源を供給している間は、自動的に補充電を継続します。

注意　・単三形乾電池装着時には絶対に充電しないでください。液漏れや発熱、破裂を起こし、事故や故障の原因となります。
・微小電流による充電回路であるため満充電には長時間を要します。
・6 本とも必ず同じ種類の電池をご使用ください。

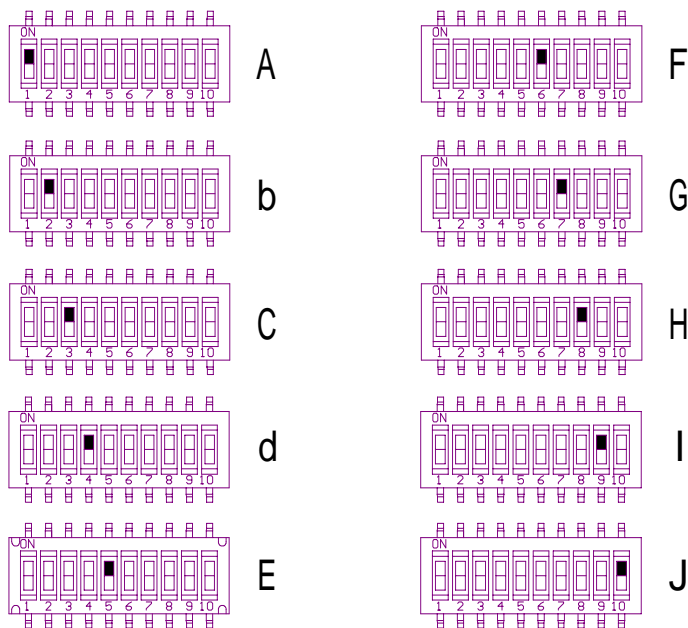
■操作部

	名称	はたらき
①	電源（白）	電源（+）ケーブルです。
②	電源（黒）	GND（-）ケーブルです。
③	表示部	チャンネルグループ番号を表示します。
④	送信ランプ	送信状態のとき、点灯（緑色）します。
⑤	書き込みスイッチ	設定変更時に押します。押すと設定が有効になります。
⑥	設定スイッチ 1	チャンネルグループを設定します。
⑦	設定スイッチ 2～6	本機では使用しません。
⑧	端子台	
⑨	φ3.5 ジャック	

6　スイッチの設定方法

設定スイッチ1の設定方法について説明します。

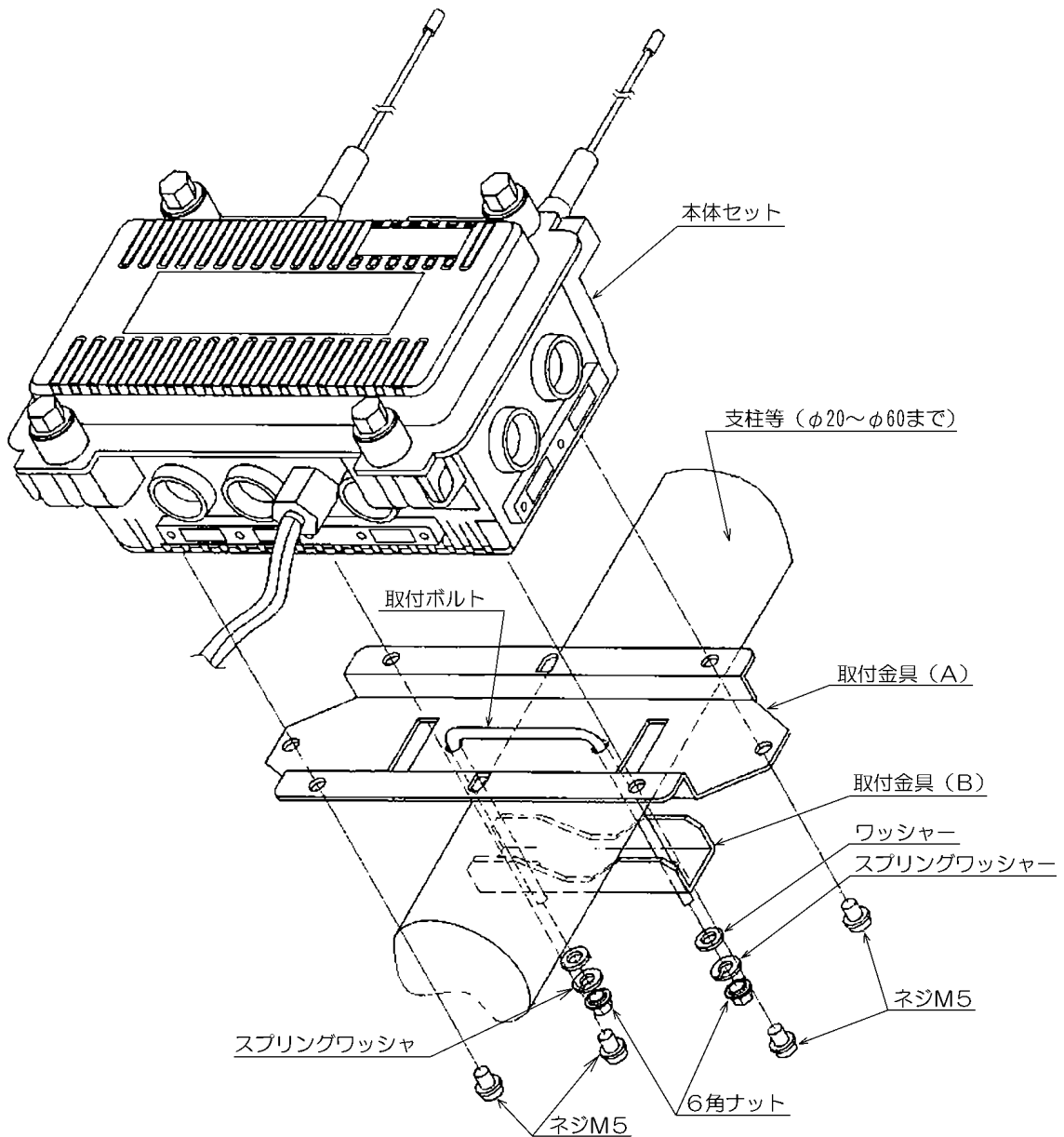
① 10 種類のチャンネルグループ（A～J）から1つだけを選んでスイッチを ON 側にします。

② 設定が完了したら、書き込みスイッチを押します。
→表示部にチャンネル番号が表示されます。

注意　運用する場合には、必ず本機と子機（DJ-M1）を同じチャンネルグループに設定してください。

注意　スイッチの切り替えには、ペン先のような先端の丸いものをお使いください。ナイフのような鋭利なものではスイッチを破損し、故障の原因となりますのでご注意ください。

メモ　ほかの電波の混信などで、正常に動作しない場合があります。このような場合、チャンネルグループを変更してください。10 種類のチャンネルグループ（A～J）いずれも動作しないときは、販売店または代理店にご相談ください。

7　設置と接続

■設 置

メモ　・取り付けできるポールの径は、φ20～60mm です。φ60mm 以上のポールに取り付ける場合は、バインド材を使用してください。
・壁に取り付ける場合、金具穴（φ6mm）を利用してください。

■接 続

●家庭用 AC コンセントに接続するには

AC アダプター（付属品）を家庭用コンセントに差し込み、本体側コネクタと AC アダプターのコネクタを接続してください。

AC アダプターを使用できない環境では、車のシガーソケットに接続することができます。

●車のシガーソケットに接続するには

シガーライターケーブル（付属品）のプラグを車のシガーソケットに挿入し、本体側コネクタとシガーライターケーブルのコネクタを接続してください。
※12V 車、24V 車どちらでもご使用になれます。

8　付録

■故障とお考えになる前に

本機が故障かな？と思ったら、まずこちらをお読みください。

症状	原因	処置
電源が入らない（なにも表示しない）	電源が接続されていない	AC アダプターを家庭用コンセントに差し込み、本体側コネクタとAC アダプターのコネクタを接続してください。 車での使用の場合、シガーライターケーブルのプラグを車のシガーソケットに挿入し、本体側コネクタとシガーライターケーブルのコネクタを接続してください。
通話できない	子機とチャンネルグループが違う	子機と同じチャンネルグループに合わせてください。(P.9)
	子機との距離が離れすぎいる	場所を移動してから通話してください。
	子機の個別番号が重複している	子機ごとに異なった番号を設定してください。
	ほかの電波が混信している	チャンネルグループを変更してみる。（親局・子機共）

■定格　DJ-M1R

送信周波数	454.05000～454.18750MHz
受信周波数	413.70000～414.13750MHz
電波形式	F3E (FM)
通信方式	複信方式
送信出力	1mW
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
受信感度	-7dBμ以下
中間周波数	1st　IF 21.7MHz/ 2nd　IF 450kHz
消費電流	待ち受け時：約 300mA　通信時：約 400mA
入力電圧	DC12V～24V (シガーライターケーブル使用) AC100V～240V (AC アダプター使用)
動作温度範囲	-10℃～+50℃
寸法	216 (W) × 130 (H) × 93 (D) (突起物除く)
重量	約 2Kg

仕様・定格は予告無く変更する場合があります。